

## 年頭挨拶

令和2年1月

会長 岡 弘

耐火物協会会員の皆様、明けましておめでとうございます。  
ご家族の皆様お揃いで明るく希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

昨年を振り返ってみますと、世界経済は米中貿易摩擦の長期化等を背景に、景気減速の傾向が続き、日本経済においても、世界経済の動向による影響から先行きの不透明感が拭えない状況であったと思います。このような中、主要なお客様である鉄鋼業界では、国内外鉄鋼需要の下振れリスクが高まっており、2019年の国内粗鋼生産量は、10年ぶりに1億トンを下回るものと見込まれています。

このような業界の需要動向を受け、2019年度の耐火物の生産量も通期で1百万トン程度と前年度より減少すると予想されます。一方、ここ数年来懸案であった耐火物原材料価格の高騰は、中国メーカーの増産と在庫の増加により、一転下落傾向にあります。このような状況下では、生産基盤の整備強化や技術開発力の強化をはかり、お客様に信頼される製品を安定供給していくことがより重要であると思います。

次に安全について一言いたします。昨年は、名古屋での活発な全国労働安全衛生大会の開催等会員各社のご努力にもかかわらず、労働災害総数は、48件と一昨年の55件より僅かに減少しましたが、休業災害件数は15件と一昨年の10件から増加しました。災害の特徴としましては、20代、30代の若年層の災害が、全体の60%以上を占めており危険体感教育等の教育の実施が重要であると認識しています。今年も「安全無くして生産無し」を常に念頭に置き、会員各社の総力を結集し、完全無災害の達成を目指してまいりましょう。

また、昨年は、耐火物統一国際会議（UNITECR 2019）が、耐火物技術協会と共催で横浜で開催されました。会員の皆様のご支援に感謝いたしますとともに、若手研究者にとっては非常に良い育成の場になったと思います。本年も少しでも会員の皆様のご期待に沿えるよう努力して参る所存ですので、引き続き皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が会員の皆様にとりまして未来に向けた明るい展望を開く充実した1年となりますことを祈念し、私の新年の挨拶といたします。